



## 2021年度第Ⅱ期『人権に関わる相談担当者等スキルアップ講座』

| 開催日       |  | 10月1日(金)  | 10月28日(木)  |
|-----------|--|---|--|
| 2<br>期    | 分野   | 部落問題  | 性の多様性  |
|           | 講座名  | 部落問題を軸にマジョリティの特権を考える  | 多様な性、家族のおもい<br>～当時どうおもい、どう行動して、これから思うこと～   |
|           | 講師   | 公益財団法人 反差別・人権研究所みえ<br>研究員 安田 賢行(やすだ まさゆき)   | NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ名古屋理事<br>浦狩 知子(うらがり ともこ)  |
|           | 内容・講師紹介など  | <p>◆概要<br/>部落問題をマジョリティ特権の視点を通して「自分の問題」として捉えるため、前半は部落問題以外の人権問題を例にマジョリティ特権を考えます。後半は部落問題と自分とのかかわりを考えます。</p> <p>◆講師紹介<br/>四日市市内の小学校で教員生活をスタートする。その後、四日市市教育委員会人権・同和教育課や三重県教育委員会人権教育課で指導主事として勤務。2020年度から、公益財団法人反差別・人権研究所みえ(愛称:ヒューリアみえ)の研究員。</p> | <p>◆概要<br/>トランスジェンダー当事者の母として、自分の人生や思い、相談や講演活動の中で得られたLGBTについての理解や現状、カミングアウトを受けた時どうするかなど、人権相談に係わる方にお話しします。</p> <p>◆講師紹介<br/>7年前、15歳のわが子からカミングアウトを受けたことをきっかけに、性的マイノリティの子どもたちが生きやすい世の中になるよう、東海・近畿地方で、講演、研修講師、交流会の開催等の活動を行っている。NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ名古屋理事、NPO団体NFT(New Future Of Transgender)メンバー、いなべ市LGBT電話相談員。「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」検討会議委員などを務める。<br/>また、高田高校の生徒さんたちと一緒に、ポスターやレインボータオルを作成し、全国の男女共同参画センターや支援団体に送付し、親御さんたちに理解が広がる活動をしている。</p> |
| 分野        | 薬物依存   | 人権相談  |  |
| 講座名       | 「依存症を理解する」<br>～その背景と病理構造、回復について～   | 障害のある方などから寄せられる相談に応じるなかで見えてくるもの   |  |
| 講師        | NPO法人三重ダルク代表・精神保健福祉士<br>市川 岳仁(いちかわ たけひと)   | NPO法人ピアサポートみえ理事長<br>相談支援専門員・社会福祉士<br>杉田 宏(すぎた ひろし)  |  |
| 内容・講師紹介など | <p>◆概要<br/>近年、社会問題の一つとしてクローズアップされる依存症について、その背景、病理構造、治療及び回復のプロセス等について、事例を踏まえながら、わかりやすく解説したいと思います。</p> <p>◆講師紹介<br/>1999年より、三重県内にて依存症本人・家族の支援に携わる。薬物のほか、近年は若年のアルコール、ギャンブル問題の支援が多い。<br/>名古屋市立大学(精神保健学)、龍谷大学(アディクシオン論)、京都精華大学(司法福祉論)等の非常勤講師。<br/>立命館大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。 精神保健福祉士。</p> | <p>◆概要<br/>三重県内外の障害のある人やその家族から、地域で生活をするなかで直面している課題についての相談や、地域の学校への就学に関する相談を受けてきた経験をもとに、人権相談についてお話ししたいと思います。</p> <p>◆講師紹介<br/>1982年津市生まれ。地域の小中学校などを経て、現在はNPO法人ピアサポートみえの代表を務める。ケイ性麻痺による体幹機能障害2級。普段は、杖や電動車いすを使用しながら生活を送っている。</p>             |  |